

2022年度 期末課題ワークシート



学籍番号 : NE21-1084B

氏名 : 笹川高聖

提出月日 : 2023/1/20

①Web注文受付ユースケースのシナリオ

■ユースケース名：Web注文受付

■主アクター：顧客

■事前条件：顧客がピザクイックのサイトを訪問

■事後条件：注文品、支払金額、配達先住所、配達予定時間が確定。

■基本パス：

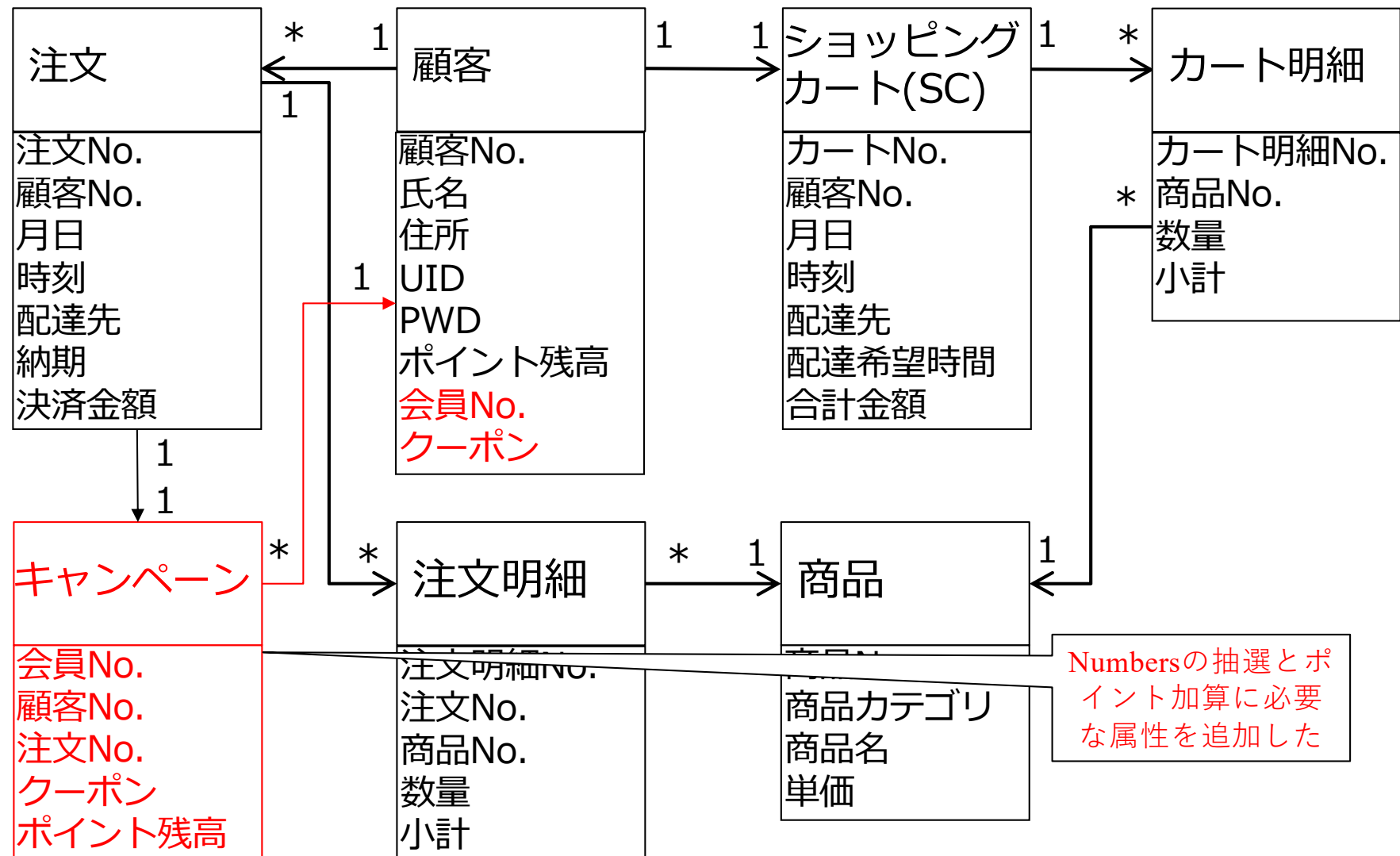
1. 顧客は、キーワード検索、商品カテゴリを利用して商品を選択する。
2. システムは、顧客が指示した商品の詳細を表示する。
3. システムは、当該商品との相性、過去の注文履歴に基づいて、最適なドリンク、サイドメニューを薦める。
4. 顧客は、購入したい商品をショッピングカートに入れる。
5. 上記1から4を必要に応じて繰り返す。
6. 顧客は、ショッピングカートの商品を確認し、OKならば注文ボタンをおす。
7. システムは、顧客にログインを指示し、ポイント割引を宣伝する。
8. 顧客は、ログインIDとパスワードを入力する。
9. システムは、個人認証を行う。
10. システムは、新会員サービス「ピザクイック会員」に加入するか問う画面を表示する。
11. 顧客は、会員加入を選択する。
12. システムは、顧客情報（名前、現住所、電話番号）、ポイント残高、会員ステータスを表示する。
13. 顧客は、配達先住所、配達希望時間を入力する。
14. システムは、配達先住所を地図上に表示する。
15. 顧客は、利用するポイント金額を指定する。
16. システムは、指定されたポイント金額を、支払金額とポイント残高から差引く。
17. システムは、注文商品、支払金額、配達先住所、配達時間を表示し、顧客に確認を指示する。
18. 顧客は、注文を確定する。
19. （キャンペーン期間中2000円以上購入している場合）システムは会員特典とキャンペーンの5+10%分のポイントを付与し、更に次回から使えるキャンペーンクーポン券を付与する。
20. （クーポン券を所持している場合）システムは任意の4桁の数字の入力を受け付ける。
21. （同上）顧客は4桁の数字を入力する。
22. （同上）システムは入力された数字が当選番号に一致した場合、その当選条件に応じたポイントを加算する。
23. システムは、確定した注文情報を表示するとともに印刷する。

1. 自動注文受付.

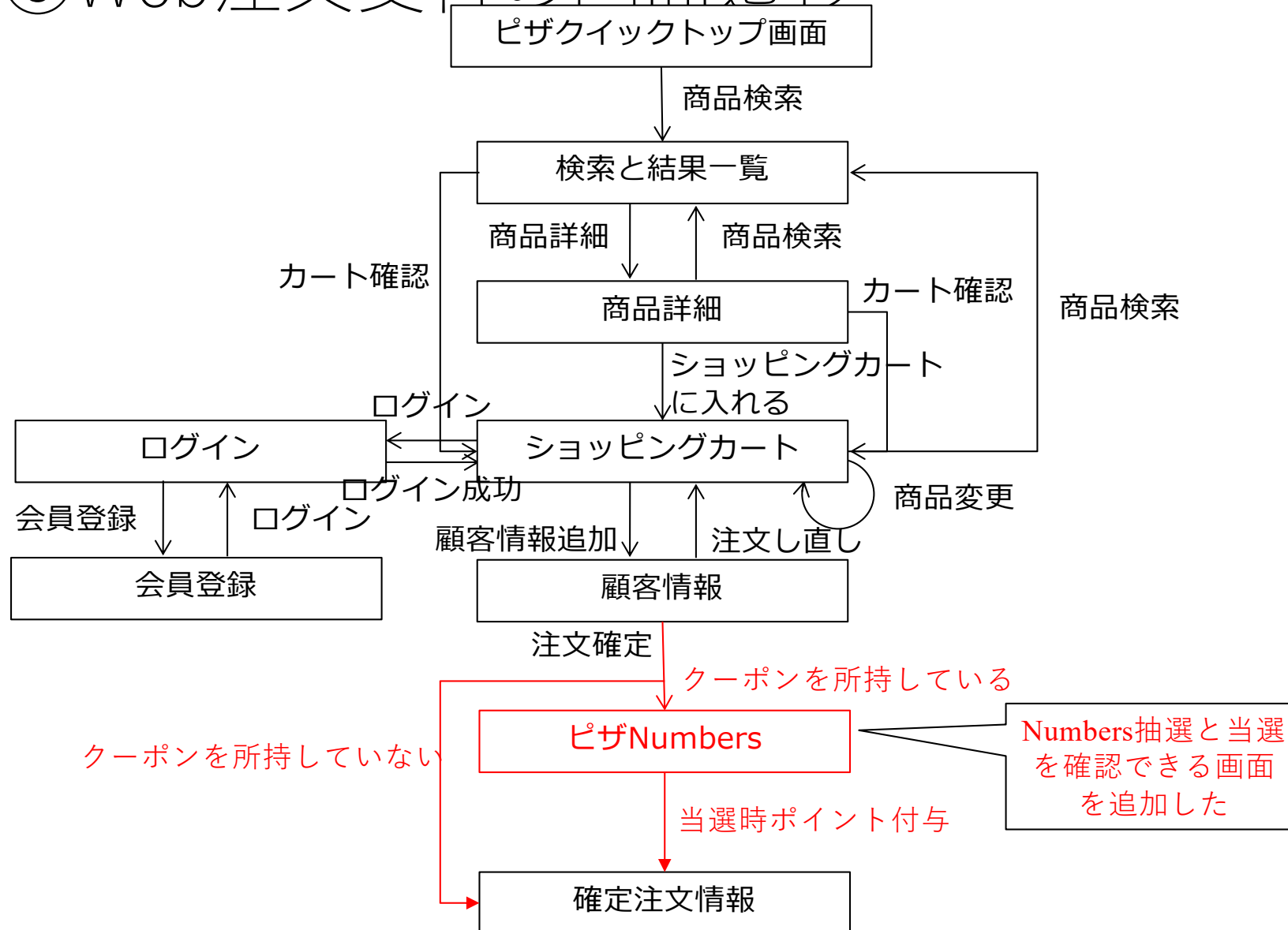
2. カートに入れた商品の関連商品リコmend.

3. 地図情報による住所チェック.

②Web注文受付のクラス図



③Web注文受付の画面遷移



バウンダリ

コントロール

商品

ショッピング
カート

カー卜明細

顧客

注文

注文明細

キャンペー-

- 注文情報の登録

注文明細の登録

⑤詳細クラス設計

<エンティティオブジェクト>

商品
商品No. 商品名 単価 製造元 カテゴリー おすすめ度
検索条件判定 商品情報問合せ 商品情報更新 商品情報登録 商品情報削除

注文
注文No. 顧客No. 月日 時刻 配達先 納期 決済金額
注文情報問合せ 注文情報更新 注文情報登録 注文情報削除 決済金額問合せ

注文明細
注文明細No. 注文No. 商品No. 数量 小計
注文明細問合せ 注文明細更新 注文明細登録 注文明細削除

⑤詳細クラス設計

<エンティティオブジェクト>

顧客	ショッピング カート(SC)	カート明細
顧客No. 氏名 住所 UID PWD ポイント残高 会員No. クーポン	カートNo. 顧客No. 月日 時刻 配達先 配達日時 合計金額	カート明細No. カートNo. 商品No. 数量 小計
ユーザ認証 ポイント更新 会員是非の判定 クーポン券付与 クーポン券有無の判定 顧客情報問合せ 顧客情報更新 顧客情報登録 顧客情報削除	カート情報問合せ カート情報更新 カート情報登録 カート情報削除 地図情報作成 ポイント割引	カート明細問合せ カート明細更新 カート明細登録 カート明細削除

⑤詳細クラス設計

<エンティティオブジェクト>

キャンペーン
顧客No. 会員No. 注文No. クーポン ポイント残高
キャンペーン登録 キャンペーン削除 キャンペーン更新 キャンペーン問い合わせ

- ・クーポン使用時に登録
- ・クーポンを消費時に削除
- ・クーポン獲得時に更新
- ・クーポンの有無を問い合わせ

⑥考察(振り返り, 感想)

この講義を通してSEの業務の要求分析とシステム設計演習・課題での実践を通して学習できた点。生徒の課題を講義で取り上げ、全体でフィードバックを共有していたので自分にも当てはまる問題点がハッキリして修正しやすかった点で講義の形式がとても良かった。

一番印象に残っている分野はシーケンス図だ。この前で学習したロバストネス図では演習・課題ともに一番考えるのに時間を要した部分でオブジェクト同士の繋がりで見落としが多くあった。だが、それが第12回になると理解できてきてロバストネス図で何枚もスライドを使って書いてきたものが1枚のスライドにスッキリと収めることができて感動した。他にもFP法によってこんなにも容易に工期を見積もることができるのかと驚かされた。